

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 11 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み	①運営推進会議の定期的・継続的な開催 ②地域との交流環境作り	①年間予定表の作成 ②ホーム発信の認知症についての勉強会を企画 ③ケアセンターによる季節に応じた勉強会をお願いする。 ④地域の情報の共有とホーム行事へのお誘い	1ヶ月
2	49	○日常的な外出支援	①ご家族との外出に限らず、生活状況の報告ができる関係を作る。	①外出支援の状況を記録や写真に残し、今まで以上に生活の様子を伝えられる機会を増やします。	1ヶ月
3	1	○理念の共有と実践	①理念の共有と統一したチームケアを行なう。	①ホーム(フロア毎)のスローガンを会議にて話し合う。 ②法人理念とスローガンを念頭に置いた、チームケアを行なう。	2ヶ月
4	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	①医療連携を強化する。 ②重度化の指針を明確にする。 ③終末期に向けた方針を考える。	①医療連携先(幸有会記念病院)と医療連携の契約 ②重度化・終末期の外部研修受講の機会を設けることと、ホーム内でも研修を行います。 ③情報・教育・方針を共有し、全スタッフが適切な対応ができるようにします。	6ヶ月
5	35	○災害対策	①訓練時は消防署の協力を仰ぐ。 ②備蓄量の見直しを行なう。	①次回の訓練は消防署の協力をお願いします。 ②消防計画の訓練時期に限らず、定期的に災害対策の研修を行います。 ③備蓄については、増量できるように検討して参ります。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。